

北九州市立福祉会館・北九州市立戸畑市民会館 指定管理者検討会 会議録

1 開催日時 令和6年10月11日（金） 14:00～15:30

2 場所 ウェルとばた 10階 10C会議室

3 出席者 （検討会構成員） 井端構成員、梅田構成員、岡田構成員、國家構成員、曾我構成員
（事務局） 保健福祉局地域福祉推進課長、地域福祉推進係長、担当職員
都市ブランド創造局文化企画課長、施設係長、担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出。

○ 北九州市社会福祉協議会（以下、「市社協」）より提案について説明後、質疑応答。

（構成員） 今回の提案の中で1番のセールスポイントは何か。

（市社協） 区内の高校大学と連携した、若者の居場所づくりに取り組む。また、ロボットを活用した受付窓口にして、障害者雇用につなげたり無人化を図っていきたい。

（構成員） 以前、2階の多目的ホール前で若者がダンスの練習をしていたが、その延長のようなイメージか。

（市社協） そうだ。

（構成員） 戸畑市民会館は立地が良くホールも2つあるので色々な取組が期待できる。以前は市民会館のホールは音楽関係のイベントだけだったが、最近はイベントやロビーの展示も福祉関係がよく目につくようになり、若者から高齢者まで多くの人が集まるようになった。ホールというよりも地域の賑わいの場として良い形で施設を提供していると実感している。現指定管理者として、やって良かったという今年のイベントは何か。

（市社協） 自主事業の映画上映は多くの方で賑わった。また、将棋の竜王戦の対局の中継をホールで行ったときは多くの人で賑わった。他にも、「80歳からの合唱団」の大ホールでのコンサートも良かった。

（構成員） 市民会館のホールを定期的に利用している団体はいくつあるか。

（市社協） 中ホールでは10団体以上ある。詩吟、舞踊、声楽などで利用している。

（構成員） 提案概要の説明に「駐車場料金の上限設定について市と協議する」とあった。駐車場が高いと思ったので努力してほしい。

（構成員） 6階に芝生があるが、利用状況はどうなっているか。また今後の活用についてどう考えているか。

（市社協） 年に1回、花火大会の時は開放しているが、常時の一般開放は安全管理上危険なため行っていない。開館当初は開放していたが、今は安全管理上の理由で開放していない。

（構成員） 勿体ない空間なので、危険ではない工夫を考えて利用できるようにしてほしい。

（構成員） 若者の居場所づくりという取組を行う上で、防犯対策はしっかり考えてほしい。勉強している学生を見かけたが、男子ばかりで女子はいなかった。昼間は明るいので心配は少ないが、夜は暗く出口も複数あるため心配だ。バス停に近く利便性は良いが、何かあってか

らでは遅いので、館内照明を明るくするなど対策は考えているか。

(市社協) 若者の居場所として、2階の交流プラザ内の休憩スペースを想定している。以前は暗かったが、今春、照明を12灯から26灯にLED化して改善している。

(構成員) 2階トイレの臭いが気になるので改善してほしい。

(構成員) 会議室を利用することがあるが、利用基準はあるのか。

(市社協) 基準は特にない。市が定めた基準に則り運用している。

(構成員) テナントの入居率は何パーセントか。

(市社協) 今は100%入居しているが、年度末には空きテナントが出る予定だ。

(構成員) テナント収益は指定管理者の収益になるのか。

(市社協) 収益にならない。市に納入している。

(構成員) 光熱水費の実費分や共益費は指定管理者に入るのか。

(市社協) そうだ。

(構成員) 過去の収支を見たら無借金経営で、純資産も潤沢で財政は健全だ。令和5年度は赤字だが、特殊要因はあるか。

(市社協) コロナ禍で支援金業務を受託していた時は状況が良かったが、令和4年度に業務が終わり、5年度は収入よりも支出が上回ったため赤字になった。

(構成員) 稼働率について現在の目標を上回る数値で設定しているが、利用者は固定した団体が多いのか、新規が多いのか。

(市社協) 毎月、ホールは抽選を行っているが、毎年同じ時期に、同じ団体からの申し込みがある。

(構成員) 土日の利用が多いのであれば、平日の利用を高めていくのが提案者の課題か。

(市社協) そうだ。

(構成員) 営業時間は何時までか。

(市社協) 22時までだ。

(構成員) その時間まで利用ができるのであれば、企業向けの講演会などを開催すれば平日の利用を高められるのではないか。

○ 応募団体の説明と質疑応答を受け、提案についての評価を行い、構成員で共有。

○ 座長の進行により構成員による意見交換。

(構成員) 戸畑市民会館は立地が良い。今後は自主事業をもっと頑張ればさらに賑わうと感じた。以前と比べて、幅広くの世代が賑わい、ウェルとばたの雰囲気は良くなった。現指定管理者である市社協は努力が認められる。

(構成員) 若者にターゲットを絞り、高齢者への配慮が少し感じられなかった。福祉会館業務は色々やっていることはわかったが、市民会館業務はもう少し斬新なアイデアも欲しかった。

(構成員) 市社協が主催という安心感はある。利用できるスペースがあるのに使っていないのは勿体ないと感じた。使える工夫をしてほしいと思った。

(構成員) 福祉を集約している施設であり、「ウェルとばたに行けば何とかなる」という安心感がある。若い世代が集まるようなスペースも大事だが、若者、障害者、高齢者がまんべんなく集まるような仕組みをつくるのが望ましい。コロナ禍での運営努力も考慮し高い評価とした。

(構成員) 照明の明るさや防犯について言及したのは、利用者が安心して集まり、アクティブに活動できる場所であってほしいと思ったためだ。これまで静かなオフィスのイメージがあった。例えば多目的ホールが夜間に空いているなら子供たちに絡めたイベントを行うなど、まだまだやれることはあると感じた。特に小さい子供を地域で育てるような取組など。

他都市の社協では、乳幼児を高齢者がボランティアで見守る場所があったりして良い取組だと思ったことがある。

(構成員) 市内の演奏活動の利用状況を言えば、中高生は黒崎ひびしんホールを一番利用している。戸畑市民会館は大型トラックの搬出やステージへの資材搬入が使いにくいからだ。戸畑市民会館は、今後効果的なPRをしないと中高生の利用を増やすことは難しいと思う。あるいは、それ以外の自主事業を増やさない限りは、利用増にはつながらないのでは。

○ 構成員からの意見交換を行ったうえで、座長から事務局へのコメント要請あり。

(事務局) 「管理運営計画の適確性」で各構成員の評価に差があっている。その点に意見があればうかがいたい。

(構成員) 「指定管理料及び収入」の評価が難しい。市が決めた上限額になっているから良し悪しがつけにくい。となると、自主事業でどれくらい売上が出るかだと思うが。

(事務局) 市は上限額を提示するが、上限額より少ない額で請け負う提案があれば加点ポイントになる。収支を考慮しその中でどれくらい取組ができるかも評価していただくことになる。

(構成員) 内容は理解した。今回は提案者も1者のため比較する団体もいなかった。法人の体制は申し分ない。ただ、提案はもう少し新しいものが欲しかった。

○ 以上の意見交換を踏まえて、評価を再度集計し、構成員に発表。

○ 検討会としての評価レベルが確定したことで、市社協の評価は、合計95点、地元団体の優遇のうち市内団体として5点を加点し100点、と得点が確定。

(構成員) 検討会は、得点どおり市社協が指定管理者に相応しいと判断する。市には、検討会における議論を参考に最終決定されたい、ということをもってこの場を事務局にお返ししたい。

○ 事務局から、検討会の検討結果を参考に、市において審査したうえで指定管理者候補を選定する旨を伝えて、検討会を終了した。